

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	保健体育		単位数	2 単位
科目名	体育		対象学年	1 学年
科目分類	必修		授業形態	男女別 授業
教科書	大修館 最新高等保健体育		担当	前田剛、吉田、 前田喜、鈴木
使用教材				
学習内容	ねらい	各種の合理的な実践を通じて運動機能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、体力の向上と生涯を通じて継続的に運動を楽しむことができる能力を育てる		
	1 学期	オリエンテーション シヤトルラン測定	授業時間	
		男子:バレーボール パス・スパイク・サーブ ゲーム 女子:卓球 フォアハンド・バックハンド・ロング打法・ショート打法 サーブ ゲーム 柔道:受け身・足技・腰技 剣道:素振り・切り返し・基本打突 ダンス:基本ステップ・創作活動	24	
		男女:水泳 4泳法の基本(キック・ストローク・コンビネーション)	時間	
	2 学期	男女:水泳 クロール・平泳ぎのまとめ・記録測定	授業時間	
		男子:ラグビー 各種パス技術 ゲーム 女子:バスケットボール パス・ドリブル・各種シュート練習 ゲーム 柔道:受け身・足技・腰技・手技・抑え技・約束練習 剣道:素振り・切り返し・基本打突・連続技 ダンス:創作活動・発表	26	
		時間		
	3 学期	男子:持久走 姿勢・腕振り・呼吸法 3kmのトライアル 男子:球技 球技大会種目の練習 女子:持久走 姿勢・腕振り・呼吸法 2kmのトライアル 女子:球技 球技大会種目の練習	授業時間	
		柔道:受け身・抑え技・自由練習・試合 剣道:素振り・切り返し・基本打突・連続技・試合 ダンス:創作活動・発表	20	
時間				
評価観点	自己の能力に応じて、運動の技能を高めることができたか。意欲的に取り組むことができたか			
評価方法	出席状況・各種運動への取り組む姿勢の態度・各種運動の技術テストを総合的に評価する			
備考				

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	保健体育	単位数	2 単位
科目名	体育	対象学年	2 学年
科目分類	必修	授業形態	男女別 授業
教科書	大修館 最新高等保健体育	担当	鈴木、前田剛、山野 佐藤、前田喜、吉田
使用教材			

学習内容	ねらい	各種の合理的な実践を通じて運動機能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、体力の向上と生涯を通じて継続的に運動を楽しむことができる能力を育てる	
	1 学期	オリエンテーション シャトルラン測定 ※2年生は男女各1単位を少人数指導で行う。 男子:器械運動 前転・後転(開脚・伸膝・飛び込み)倒立・側転 連続技 男子:バスケットボール 各種パス練習・シュート練習 3対2の攻防練習 ゲーム 女子:バレーボール パス・スパイク・サーブ ゲーム 女子:器械運動(マット運動) 開脚・閉脚(前転/後転) 倒立・側転 連続技 女子:インドアミニサッカー パス・ドリブル・シュート ゲーム 男女:水泳 4泳法の基本 背泳のまとめ 記録測定	授業時間 24 時間
	2 学期	男女:水泳 4泳法の基本 3種目個人メドレー 記録測定 男子:バレーボール スパイク練習・サーブ&レシーフ・ゲーム 男子:ソフトボール キャッチボール・バッティング練習・守備練習・ゲーム 男子:硬式テニス フォアハンド・バックハンドストローク・サーブ・ゲーム 女子:バスケットボール 各種パス練習・シュート練習 3対2の攻防練習 ゲーム 女子:ソフトボール キャッチボール・バッティング練習・守備練習・ゲーム 女子:硬式テニス フォアハンド・バックハンドストローク・サーブ・ゲーム	授業時間 26 時間
	3 学期	男子:持久走 フォーム・呼吸法・腕振り 3kmのトライアル 男子:球技 球技大会種目の練習 女子:持久走 フォーム・呼吸法・腕降り 2kmのトライアル 女子:球技 球技大会種目の練習	授業時間 20 時間
評価観点	自己の能力に応じて、運動の技能を高めることができたか。意欲的に取り組むことができたか		
評価方法	出席状況・各種運動への取り組む姿勢の態度・各種運動の技術テストを総合的に評価する		
備考			

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	保健体育	単位数	2 単位
科目名	体育	対象学年	3 学年
科目分類	必修	授業形態	男女別 授業
教科書	大修館 現代保健体育 改訂版	担当	山野、吉田、前田喜 鈴木、佐藤、前田剛
使用教材			

学習内容	ねらい	各種の合理的な実践を通じて運動機能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、体力の向上と生涯を通じて継続的に運動を楽しむことができる能力を育てる	
	1 学期	オリエンテーション シャトルラン測定 体育館: バスケットボール 体育館: バドミントン 柔道場: インドアサッカー 剣道場: 卓球 男女: 水泳 4種目個人メドレー	授業時間 左の4種目を4期に分けて男女各2班でローテーションする。 24 時間
	2 学期	男女: 水泳 4種目個人メドレー 記録測定 体育館: バスケットボール グランド: サッカー テニスコート: 硬式テニス 剣道場: 卓球	授業時間 ドリブル・パス・シュート技術・ゲーム運営 ドリブル・パス・シュート技術・ゲーム運営 サブ・レシーブ技術・フォア・バックゲーム運営 サブ・レシーブ技術・フォア・バックゲーム運営 26 時間
	3 学期	体育館: バスケットボール グランド: サッカー テニスコート: 硬式テニス 剣道場: 卓球	授業時間 ドリブル・パス・シュート技術・ゲーム運営 ドリブル・パス・シュート技術・ゲーム運営 サブ・レシーブ技術・フォア・バックゲーム運営 サブ・レシーブ技術・フォア・バックゲーム運営 20 時間
	評価観点	自己の能力に応じて、運動の技能を高めることができたか。意欲的に取り組むことができたか	
	評価方法	出席状況・各種運動への取り組む姿勢の態度・各種運動の技術テストを総合的に評価する	
備考	男女別少人数制展開別体育4講座を4つの場所と種目をローテーションで行う		

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	保健体育		単位数	1 単位
科目名	保健		対象学年	1 学年
科目分類	必修		授業形態	クラス別 授業
教科書	大修館 最新高等保健体育		担当	前田剛・山野・吉田
使用教材				
学習内容	ねらい	生涯にわたって健康で充実した人生が送れるように、自ら健康について深く考え賢明に行動できるようにする		
	1 学期	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 健康に関する意志決定・行動選択 生活習慣病の予防 食事と健康	運動・休養と健康 喫煙と健康 飲酒と健康	授業時間 12 時間
		2 学期	薬物乱用と健康 感染症とその予防 性感染症・エイズとその健康 欲求と適応機制 心身の相関とストレス こころの健康のために	
	3 学期		交通事故の現状と要因 交通事故を防ぐために 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法の原理と行い方	
評価観点	各学期考査等の成績 出席状況 授業態度 研究レポート発表			
評価方法	各学期の考査 授業態度 研究レポートの発表内容 ノート提出等総合的に判断する			
備考				

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	保健体育		単位数	1 単位
科目名	保健		対象学年	2 学年
科目分類	必修		授業形態	クラス別 授業
教科書	大修館 最新高等保健体育		担当	前田喜・佐藤・鈴木
使用教材				
学習内容	ねらい	生涯にわたって健康で充実した人生が送れるように、自ら健康について深く考え賢明に行動できるようにする		
	1 学期	思春期と健康 性への関心・欲求と性行動 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	授業時間	12 時間
	2 学期	医薬品とその活用 医療サービスとその活用 保健サービスとその活用 様々な保健対策や健康 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康	授業時間	13 時間
	3 学期	環境汚染を防ぐ取り組み <small>この処理と上排水の処理</small> 食品の安全を守る活動 働くことと健康 働く人の健康作り	授業時間	10 時間
評価観点	各学期考査等の成績 出席状況 授業態度 研究レポート発表			
評価方法	各学期の考査 授業態度 研究レポートの発表内容 ノート提出等総合的に判断する			
備考				

平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	総合的な学習の時間		単位数	1	単位
科目名	スポーツから人生を学ぶ		対象学年	3	学年
科目分類	必修選択		授業形態	一斉	授業
教科書	(斜線)		担当	佐藤	
使用教材	ビデオカセット DVD				
学習内容	ねらい	スポーツが持っている様々な要素を通して、自己実現をしていくために必要なことは何かを感じさせる。			
	前期	テーマとなるキーワード(モチベーション、ディシプリン、生理的限界、精神的限界など)を与え、エピソードの紹介や講義を行った後、その日のテーマにあった視聴覚教材を見せ、ディスカッションをしたりしながら、レポートを書かせる。			授業時間 35 時間
	後期	前期同様に行っていく			授業時間 35 時間
評価観点	その日のテーマを自分なりに考え、表現できたか。 視聴覚教材を見て何かを感じとったか。				
評価方法	意見交換をしながらレポートを書かせ、毎回提出させる。				
備考					